

部局名:警察本部

平成30年度当初予算知事査定ヒアリング資料

順番	細事業名	事業費(単位:千円)	ページ
1	交通安全施設整備事業	732,198	1
	合 計	732,198	

事業概要

細事業名		国補交通安全施設整備費				区分	継続
施策		142	交通事故ゼロ、飲酒運転0（ゼロ）をめざす安全なまちづくり				
基本事業		14203	安全で快適な交通環境の整備				
		目標項目		29年度実績値		31年度目標値	
		老朽化した信号制御機の更新数（累計）				152基	
根拠 （法令等）		道路交通法 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律 高齢者、障害者等の移動等の円滑化に関する法律（新交通バリアフリー法） 交通安全対策基本法					
予算額等	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	予算額		203,952千円	391,104千円	千円		
	決算額	393,366千円	162,325千円				
事業の目的		交通の安全と円滑を確保するため、交通安全施設の整備を進めます。					
事業目標		幹線道路の円滑化対策として、システム改修等、交通管制センターの整備・拡充を実施するとともに、既設信号機の高度化改良や信号灯器のLED化を行い、交通事故の抑止と円滑化を図ります。 老朽化した信号柱の更新等、インフラ老朽化対策の推進を図ります。 視認性に問題がある道路標識や摩耗等により機能が損なわれている道路標示を修繕（塗り替え）することで、交通規制の明確化を確保し、道路交通の安全と円滑を図ります。					
前年度からの変更点		交通管制センターの伊勢サブセンターについて、更新時期を迎えるシステムの更新を行います。					
事業の必要性と期待される効果		交通管制センターにおいて最適な信号制御と迅速かつきめ細かい交通情報の収集・提供を行うことで、交通の安全と円滑の確保が期待できます。 信号機や道路標識、道路標示の整備を進めることで、安全で快適な道路交通環境が構築され、交通事故の抑止につながることを期待できます。					

取組概要	<p>交通管制システム等の改修・整備を行い、より最適な信号制御及びきめ細かい交通情報の提供を図ります。</p>
	<p>交通実態を把握した上で、道路交通環境改善の緊急性、必要性の高い交差点等を抽出し、計画的に既設信号機の高度化改良や老朽化施設の更新を図ります。</p>
	<p>横断歩道、一時停止等の交通規制の明確化を確保するため、道路標識の更新や道路標示の塗り替え等を行うことで、道路交通環境の整備、充実を図ります。</p>
取組内容等	

国補交通安全施設整備費 366,577 千円 (43,590 千円)

- (1) 交通管制センター伊勢サブセンターシステム更新 61,500 千円
 交通管制センター伊勢サブセンターのシステム更新を行います。
- (2) 交通管制センター関係装置整備 60,888 千円
 集中制御機や交通情報板の整備を行います。
- (3) 信号機改良 85,590 千円
 既設信号機の高度化改良、信号灯器のLED化等の改良工事を行います。
- (4) 信号機新設 67,329 千円
 道路の新設に伴い必要となる信号機の整備を行います。
- (5) 信号柱更新 12,392 千円
 老朽化した信号柱の更新を行います。
- (6) 路側道路標識設置 42,500 千円
 路側道路標識の更新や新設を行います。
- (7) 道路標示塗装 29,040 千円
 横断歩道などの道路標示の更新（塗り替え）や新設を行います。
- (8) 交通管制センター上位装置賃貸借料 3,811 千円
 システムリース及び保守料
- (9) その他 3,527 千円
 工事の執行に必要な設計委託料や消耗品など。

事業概要

細事業名		県単交通安全施設整備費				区分	継続
施策		142	交通事故ゼロ、飲酒運転0（ゼロ）をめざす安全なまちづくり				
基本事業		14203	安全で快適な交通環境の整備				
		目標項目		29年度実績値		31年度目標値	
		老朽化した信号制御機の更新数（累計）				152基	
根拠 （法令等）		道路交通法 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律 高齢者、障害者等の移動等の円滑化に関する法律（新交通バリアフリー法） 交通安全対策基本法					
予算額等	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	予算額		182,186千円	628,241千円	千円		
	決算額	313,336千円	180,857千円				
事業の目的		交通の安全と円滑を確保するため、交通安全施設の整備を進めます。					
事業目標		「みえ公共施設等総合管理基本方針」に基づき、老朽化した交通安全施設を更新します。 視認性に問題がある道路標識や摩耗等により機能が損なわれている道路標示を修繕（塗り替え）することで、交通規制の明確化を確保し、道路交通の安全と円滑を図ります。 交通環境の変化による交通量・交通流の変化を見ながら、既設信号機に係る歩行者用灯器の増灯を行い、交通事故の抑止と円滑化を図ります。					
前年度からの変更点							
事業の必要性と期待される効果		老朽化した交通安全施設を更新することにより、不具合やトラブルを未然に防止することで、不測の事態を回避し県民の安全を確保できることが期待できます。 道路標識、道路標示の整備や歩行者用灯器の増灯を行うことで、交通事故の抑止と円滑化を図り、安全で快適な道路交通環境の構築が期待できます。					

取組概要

老朽化した交通安全施設について、更新や撤去などインフラ老朽化対策を進めます。
 横断歩道、一時停止等の道路標示や道路標識の整備を図ります。
 歩行者用灯器の増灯を行い、誰もが安全で快適に通行できる道路環境の整備を図ります。

取組内容等

県単交通安全施設整備費 365,621千円(85,621千円)

- (1) 制御機更新 132,300千円
 老朽化した信号制御機の更新を行います
- (2) 交通信号柱更新及び大型道路標識建て替え 55,515千円
 老朽化した信号柱の更新及び大型道路標識の路側標識への建て替えを行います
- (3) 道路標識設置 13,175千円
 路側標識の更新や新設を行います。
- (4) 道路標示塗装 76,395千円
 横断歩道などの道路標示の更新(塗り替え)や新設を行います。
- (5) 歩行者用灯器増灯工事 20,545千円
 歩行者用灯器の新設整備を行います。
- (6) 交通安全施設撤去工事 30,226千円
 老朽化した交通安全施設の撤去を進めます。
- (7) 交通信号機移設等改修 31,860千円
 電力会社や通信事業者の電柱に共架している信号灯器やケーブル等の移設に対応します。
- (8) その他 5,605千円
 工事の執行に必要な設計委託料や消耗品など。

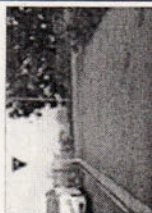
平成30年度交通安全施設整備事業

～悲惨な交通事故から尊い命を守るための交通インフラの着実な整備と的確な維持管理～



現状

摩耗した道路標示(県内)
「停止線」と「止まれ」



はみ出し禁止



道路標示

- 運転者や歩行者が、道路の状況(交通規制、道路形状等)を適切に認識するためには、道路標示の視認性の確保が不可欠
- 平成28年度の調査では、県内の横断歩道(17,746本)の約10%、実線(黄色の中央線等1,713.8km)の約6.5%、図示(停止線等13万7千個)の約7%が摩耗
- 平成29年度の塗替率は、横断歩道は100%となるものの、実線及び図示については、それぞれ約14%、約5%にとどまる見込み
- 塗替えに関する県民からの要望が急増



道路標示の摩耗が交通規制の実効性を阻害(事故を誘発する危険大)!

「横断歩道など道路標示の摩耗」や「信号制御機・信号柱の老朽化」によるリスク排除が急務

対策

○道路標示の塗り替え

- ・平成30年度は、一時停止関係の道路標示(停止線、「止まれ」文字)に注力、3,300個の塗り替えを実施
- ・横断歩道については、本年度把握した1,030本の塗り替えを実施
- ・そのほか、実線23kmについても緊急性等を勘案し、順次塗り替え



【塗り替えによる視認性の向上(県内)】



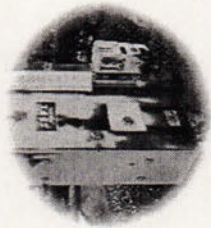
○その他の取組

- ・信号機の新設や信号灯器のLED化、歩行者用灯器の増設など、より安全・安心な交通環境の整備を推進

信号制御機

- 県内では平成26年度以降、信号制御機の故障による障害が67件発生
- 県内の信号制御機3,220基のうち、877基(平成29年3月末)が更新基準(製造後19年)を超過(超過率約27.2%)
- 更新基準を超過すると、故障率が大きく増加(4年経過で1%超)

【老朽化した制御機(県内)】



【老朽化により倒壊した信号柱(県外)】



信号柱

- 県内の信号柱15,984本のうち、1,810本(平成29年3月末現在)が、耐用年数を超過(超過率約11.3%)
- 保守点検により修繕が必要と判定された信号柱は5,548本存在
- 全国的には、平成20年度以降20件の信号柱倒壊事案が発生

信号機の故障や倒壊による重大事故の発生が懸念!

○信号制御機の更新

- ・平成11年に製造中止となり、部品供給も終了している型式の信号制御機のうち、更新基準を5年以上経過している63基全てを更新

○信号柱の更新

- ・保守点検の結果に基づき、緊急性の高い信号柱43本を更新(コンクリート柱35本、鋼管柱8本)

平成30年度当初予算要求額

732,198千円
国補事業 366,577千円
県単事業 365,621千円

誰もが安全で快適に利用できる道路交通環境の構築に向けて!